

家庭で私たちにできること⑦

レジ袋の場合



【ねらい】

ごみの焼却等により化石燃料が使用され、結果として二酸化炭素の排出や地球の気温上昇に繋がることを理解したうえで、3R行動とそれによるCO₂削減効果を示すことにより、自分たちの日常生活の中でのごみの削減や3Rの実践行動に繋げていきます。

家庭で私たちにできること⑦

レジ袋の場合



※これを参考に、クラス生徒全員の家庭で取り組んだ場合、学校生徒全員の家庭で取り組んだ場合などを計算して、**少しの取り組みの積み重ねが温暖化防止に繋がることを実感してみましよう！**

【資料解説】

ここでは、日常生活の中で行える3R行動とそれによるCO₂削減効果を考えます。右のデータは、レジ袋の辞退について、削減できるCO₂の排出量をサッカーボールの個数に換算したものです。

環境省が作成した「3R行動見える化ツール」を参考に計算すると、**レジ袋（サイズ：L、重量：6.8g）を1回辞退した場合、33gのCO₂を削減することができま**す。

※使用されなかったレジ袋の重量分だけ、レジ袋の原料採掘・製造、輸送、廃棄物の処理（焼却）に伴って排出されるCO₂を削減できるものとして計算。（詳細は、環境省「3R行動見える化ツール」を参照してください。）

これをサッカーボールの個数に換算すると、約3個分になります。（環境省の「めざせ！1人、1日、1kgCO₂削減」では、1kgのCO₂量はサッカーボールの場合、約100個分の体積に相当するとしています。）

参考：環境省「3R行動見える化ツール」

【参考1】レジ袋で3Rを考えてみよう

- ①Reduce（リデュース）
自分の買い物袋を持ていき、レジ袋はもらわない。（レジ袋の辞退）
- ②Reuse（リユース）
もらったレジ袋を繰り返し使う。
- ③Recycle（リサイクル）
もらったレジ袋を資源として分別し、リサイクルしてもらう。

最も環境にやさしいのは、①のレジ袋の辞退です。次が②③と続きます。**リサイクルにはたくさんのエネルギーが使われるので、ごみも資源も、もともと減らすことが重要**です。

出典：環境省「3Rまなびあいブック」

【参考2】年間約300億枚のレジ袋

現在、日本で年に約300億枚のレジ袋と約28億枚の紙袋が使われて捨てられています。仮に、みんながマイバッグで買い物をし、それを5年に1度買い替えるとなると、**マイバッグ1枚で、レジ袋1,250枚と紙袋116枚分の働きをすることになります。**

出典：環境省「3Rまなびあいブック」

【関連する各教科の学習内容】

	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
社会	地域の人口の増加や減少	地域の人口の増加や減少	公害と環境の保護、生活環境	世界のなかの日本	【地理】 世界と比べた日本の地理的特徴（気候・工業・人口と産業）	【公民】 国民の生活と政府の役割（環境の保全） 世界の人口と人口増加の増大（地球温暖化、資源・エネルギー）よりよい社会を築いて	
理科				生物と環境			
技術・家庭(環境)							
技術・家庭(家庭)							